

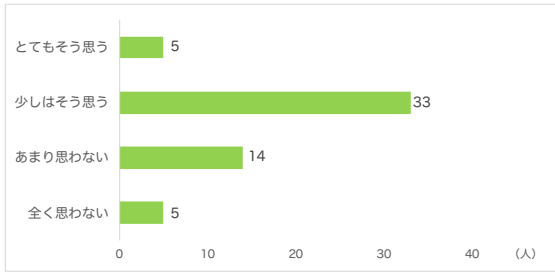
2019年2月
サポーツ京田辺
やる気UPアンケート・勉強の仕方に関するアンケート調査
報告書

同志社大学心理学部 田中あゆみ

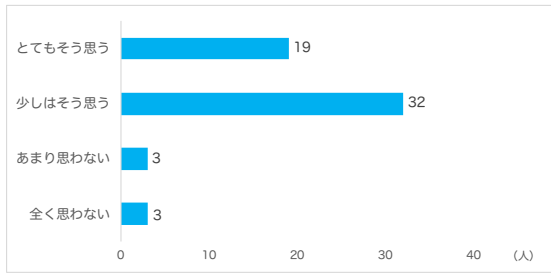
*この報告書のフォーマットは、高知大学教育学部福住紀明先生が作成されたフィードバック資料を参考にしています。ここに記して心より感謝を申し上げます。

1. サポーツやる気upアンケートの結果（2018春）

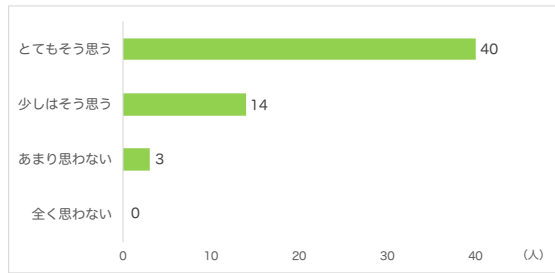
「勉強することは楽しいと思う」



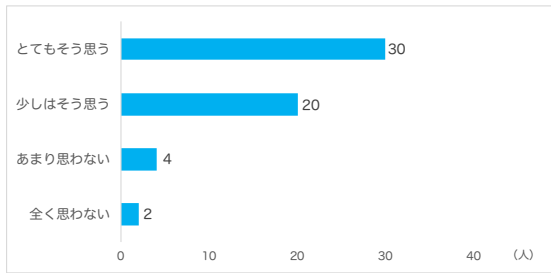
「サポーツで勉強することは楽しいと思う」



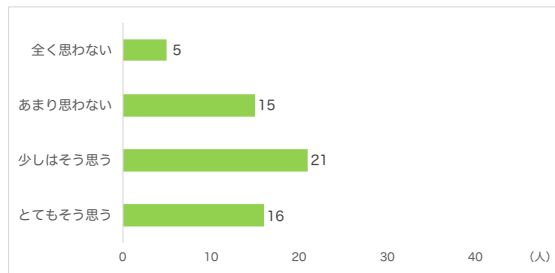
「勉強することは将来役に立つことだと思う」



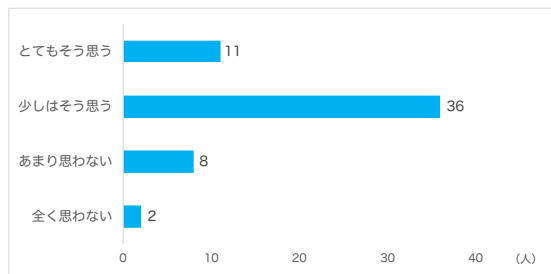
「これからもサポーツに通うことが、「自分のためになる」と思える」



「自分は「勉強ができない」と思う」

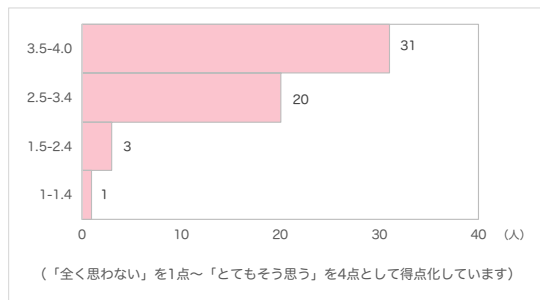


「今の感じだと、これから成績が上がるように思う」



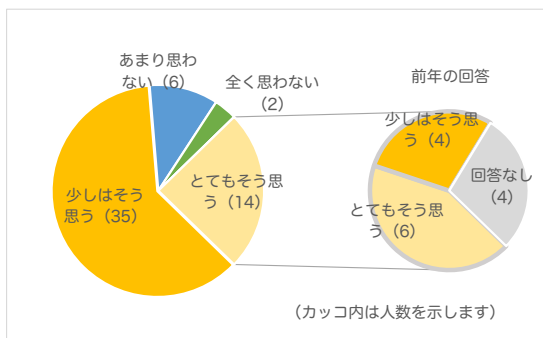
サポーツの自律性支援

（「サポーツでは、先生が私に何かを決める機会を与えてくれていると感じる」と「サポーツでは、先生は私がどのように行動したいかを知ろうとしてくれると思う」の平均値）

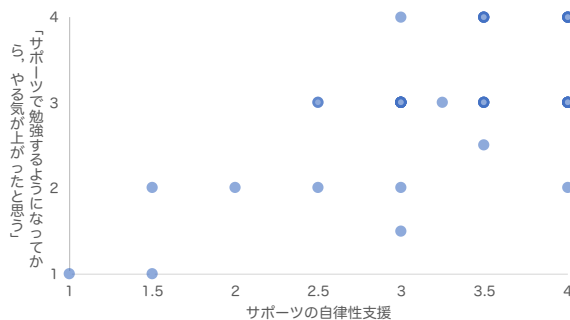


「サポーツで勉強するようになってから、やる気が上がったと思う」

18年春（左）と、「とてもそう思う」回答者の前年度の回答内訳（右）

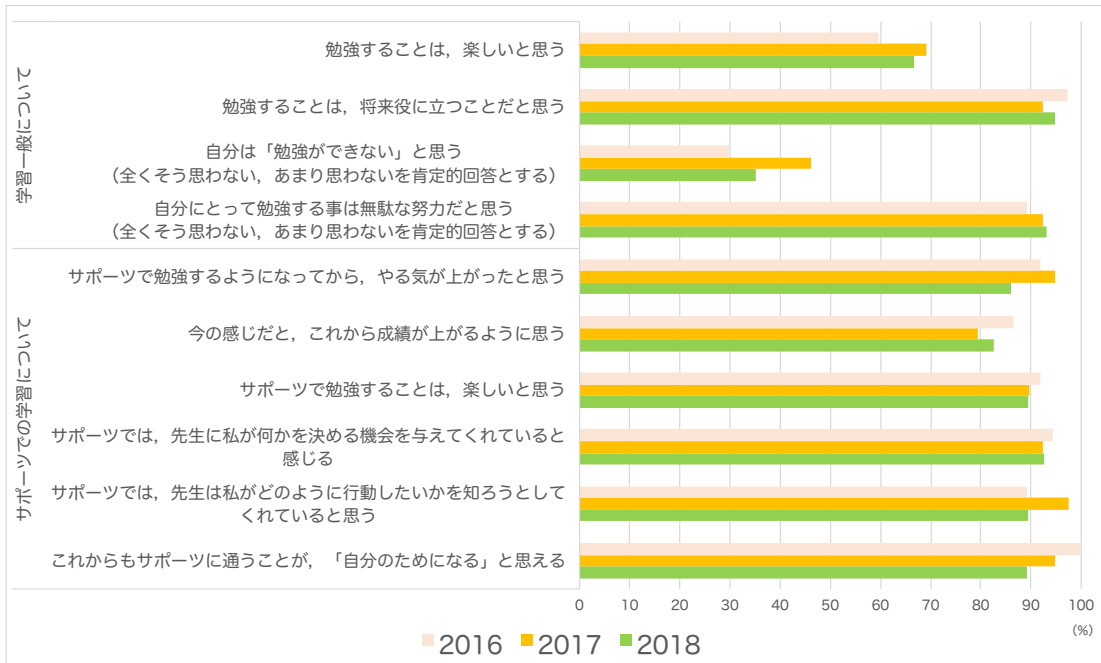


サポーツの自律性支援と「サポーツで勉強することでやる気が上がった」回答のプロット

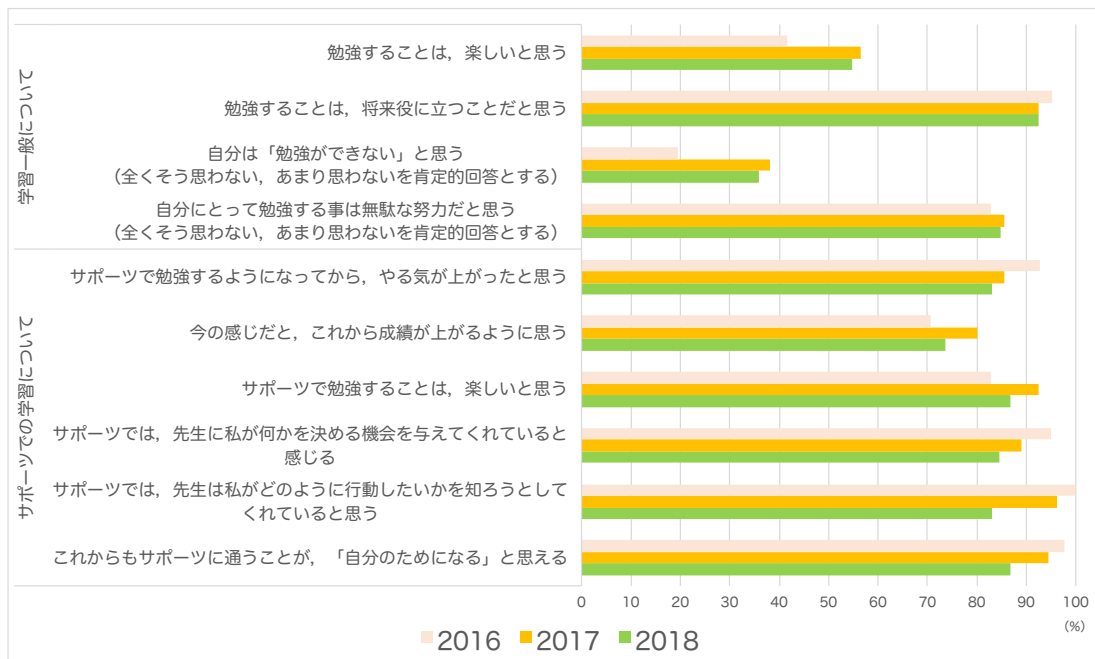


2. サポーツやる気upアンケート 2016年から2018年の肯定的回答（とてもそう思う, 少しそう思う）のパーセントの推移

春実施アンケート



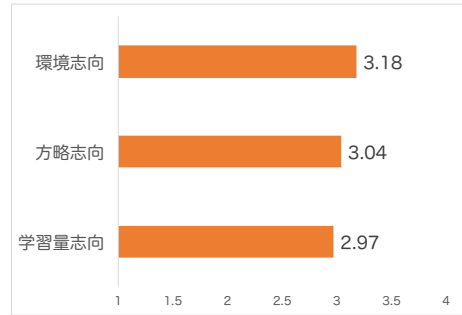
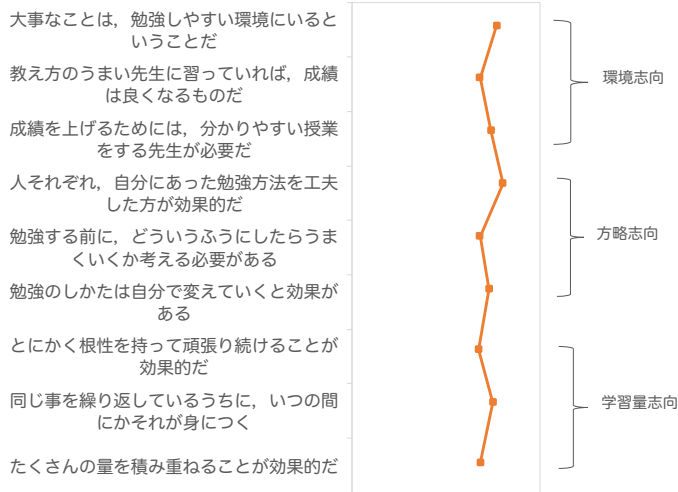
秋実施アンケート



3. 勉強の仕方に関する調査の結果（2018年春）

学習の成立についての考え方（学習観）

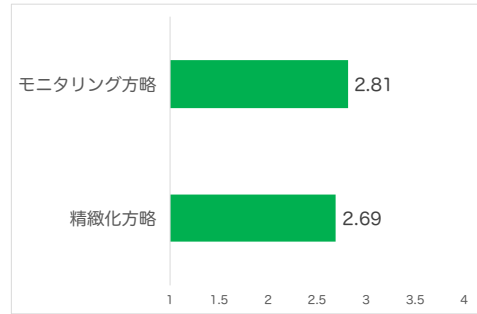
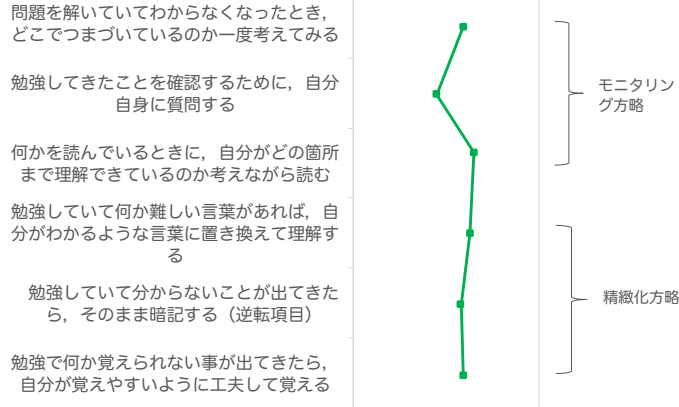
(植木 (2002) の学習観尺度)



(「そう思わない」を1点～「そう思う」を4点として得点化しています)

有効な学習方略の利用

(植木 (2002) の学習方略尺度)



(「全くそうしない」を1点～「必ずそうする」を4点として得点化しています)

有効な学習方略の利用の平均得点と「サポートで勉強することでやる気が上がった」回答のプロット

